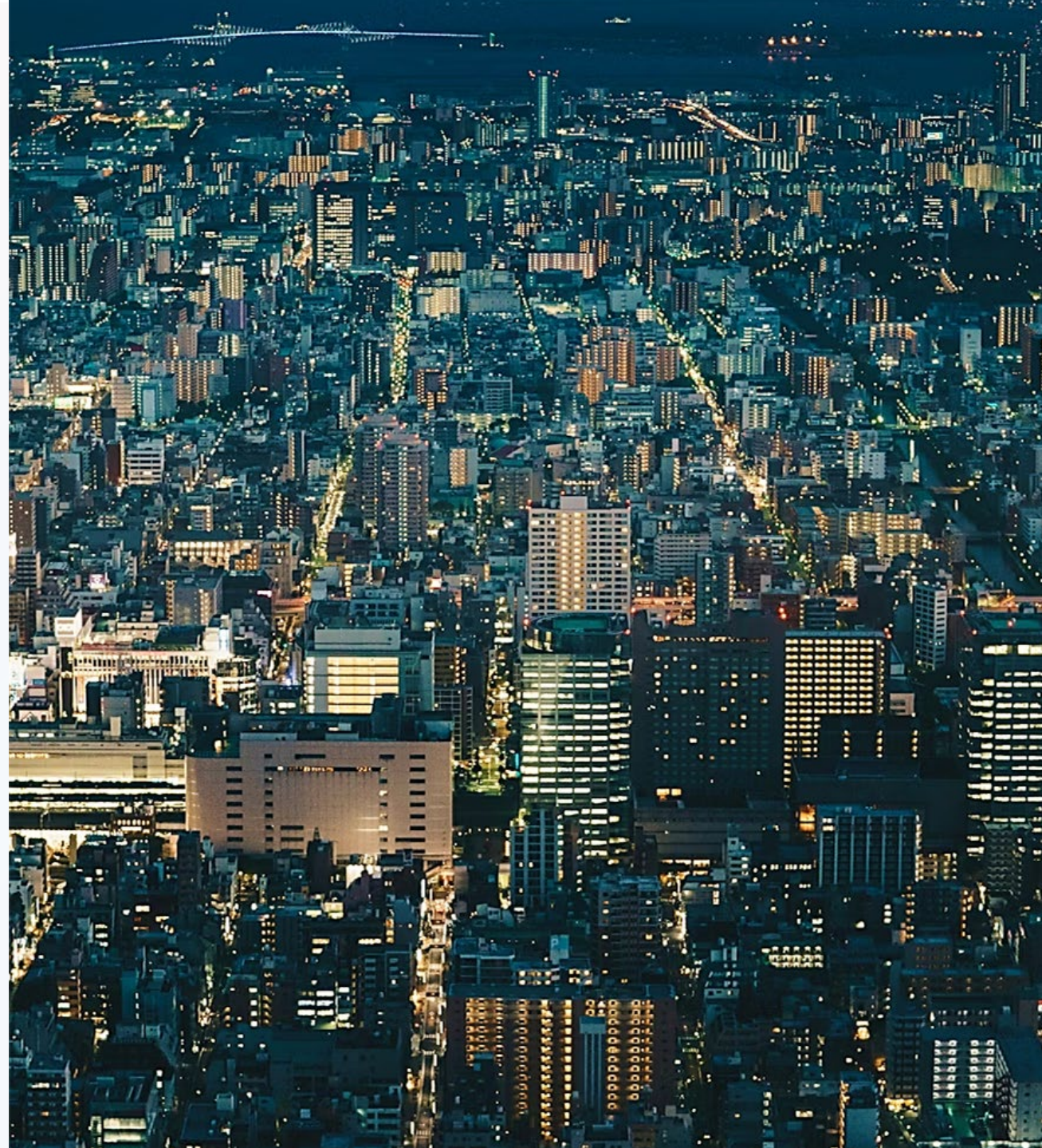


SWG3の取り組みからの視点

城山 英明 東京大学公共政策大学院 教授



社会と技術の転換の道筋を見出すためのトランジション・シナリオ

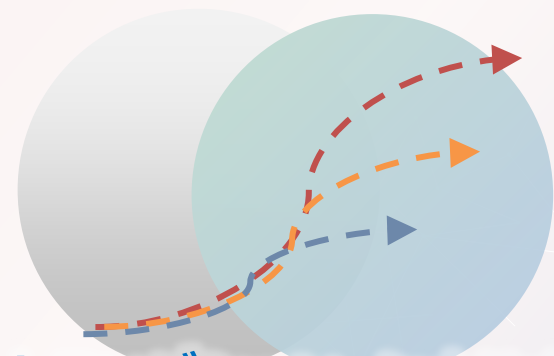
多様なアクターとの対話を通じて、トランジション・シナリオを構築、公正なシステム変化を促す



- 多様なアクターへの
エキスパート・インタビュー
- 電力、産業、行動変容の
シナリオ記述
- フォーラムを通じた対話



2022



トランジション・シナリオ

2050年に向けた社会と技術の転換のあり方を提言



- ドメインごとに複数の
分岐シナリオを提示
- 持続可能なエネルギー・
システムへの統合的な
トランジションのあり方を提言

これまでのエキスパート・インタビュー

国際機関、地域共同体、国際エネルギー団体、
国際再生可能エネルギー団体、日本政府、地方
自治体（再エネ大量導入地域、CCS、臨海工業
地域）

48回のインタビューを実施（2020年11月～2026年7月）



国際NGO、研究者（気候政策、環境経済学、生
物多様性政策、都市データ、交通計画、行動変容、
水素、CCS、農業政策）、シンクタンク、地域新電
力支援団体

鉄鋼、石油化学、ガソリン・スタンド、自動車、
航空、メガバンク、地方銀行、ベンチャーキャピタル、風力
発電、バイオマス発電、地域新電力、小型原子炉、
国際貿易協力団体、ジャーナリスト

地政学（地経学）的対立における気候・エネルギー転換の道筋を見出す

コロナ危機やウクライナ戦争以後、地政学的対立が気候・エネルギー転換の道筋を不安定化
経済安全保障への関心の高まりのもと、パートナーシップの重層化や供給網の強靱化が求められている

トランプ政権とアメリカ第一主義

- ・トランプ大統領はパリ協定を含む気候関連交渉から撤退、化石燃料産業を重視
- ・強硬な関税政策により、アメリカ中心のサプライチェーンの構築をめざす



ヨーロッパにおける競争力・安全保障

- ・米中との競争のもと、再エネ、デジタルを基軸に経済競争力強化を推進
- ・ロシアの脅威、および米国との関係の変化に基づき安全保障・防衛の再増強



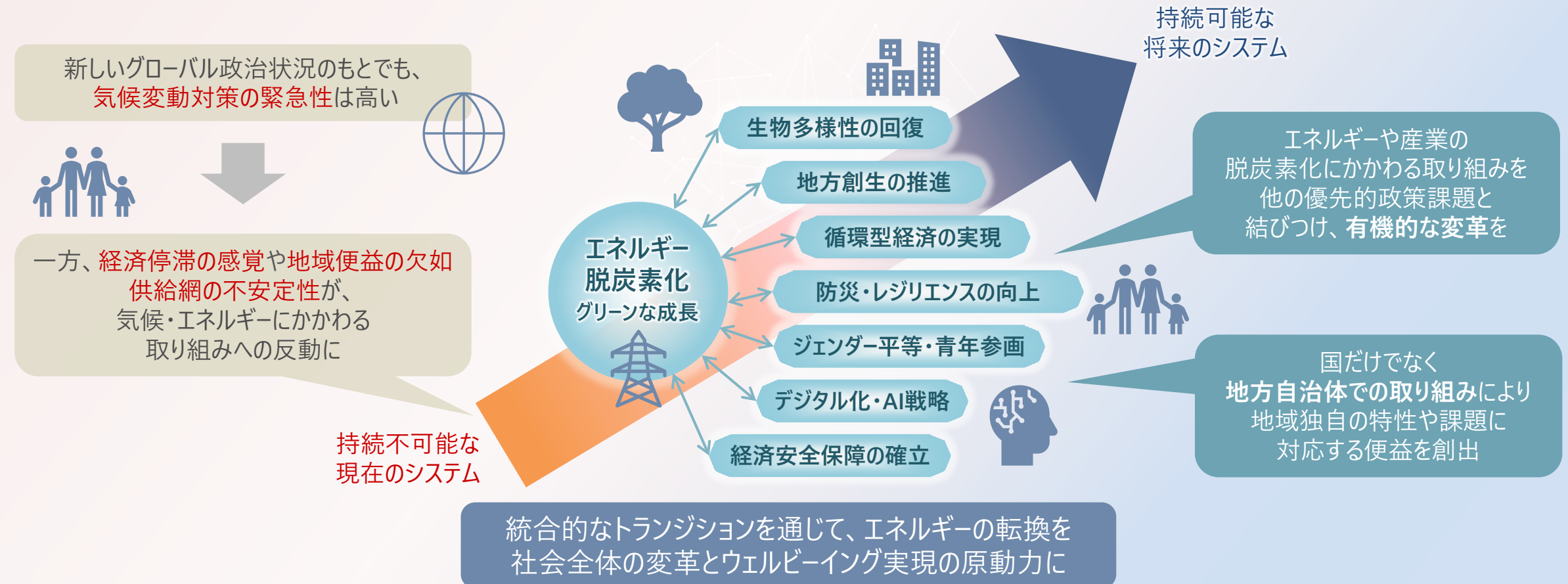
気候・エネルギー・デジタル分野における中国の影響力の増大

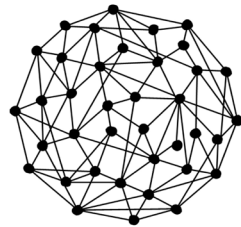
- ・気候変動分野におけるアメリカの指導力の低下のもと、影響力を増大
- ・クリーン・エネルギー、AI・ロボティクス、鉱物資源、軍事における優位性を向上



統合的なトランジション

気候・エネルギーの取り組みを他の優先政策課題と結びつけながら統合的なトランジションをめざす





H-UTokyo Lab.